



消防大学校だより



火災調査科における教育訓練 ～模擬家屋実習について～

消防大学校では、火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に、専科教育として「火災調査科」を設置しています。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年度内に2期実施されるどころ1期のみの実施となりましたが、全国から集まった46名が令和2年10月14日から12月3日までの51日間にわたる教育訓練を終えて、全員が無事卒業しました。

火災調査科では、電気火災鑑識実習など様々な実習が行われますが、本課程を総括する実務型の教育訓練である模擬家屋実習について紹介します。

1 模擬家屋実習の概要

模擬家屋実習は、約10㎡の建物を4棟仕立て、内装や家財を実際の家屋と同様に設定し、それぞれ異なる原因で火災を発生させ、実際の現場と同じように火災調査を行うものです。

各棟とも、現場調査終了後、出火箇所付近から取去した石油ストーブ等の鑑識を実施したほか、再現実験を行うなど、科学的かつ客観的な火災調査の実践に努めました。

2 模擬家屋火災実習での取り組み

学生が主体となり、それぞれの任務分担（調査責任者・指揮者(主任調査員)・発掘者・写真撮影者・図面作成者）に基づき、火災現場の指揮要領から消火、現場発掘、鑑識、再現実験及び関係者への原因説明要領までを実施し、その上で、学生1人ひとりが火災調査書類を作成しました。

研修の最後には火災調査発表会を実施し、学生の指導者としての説明能力（プレゼン能力）の向上を図るとともに、様々な意見を交わすことで、更なる知見を得ることができました。

今後、各学生は、消防大学校火災調査科の卒業生としての誇りと自信を持ち、科学的かつ客観的な視点で火災調査を行い、火災予防に寄与することが期待されます。



模擬家屋の燃焼状況



現場見分実施状況(発掘)



鑑識実習状況



消防大学校だより

女性活躍推進コースにおける教育訓練

消防大学校では、今回で5回目となる、女性活躍推進コース第5回を開催しました（令和2年12月15日～23日）。

このコースの目的は、女性消防吏員で消防司令補又は消防士長の階級にある幹部候補生に対して、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させることです。

コロナ禍の中、全国の消防本部から44名の学生が、入校前のeラーニングによる個別学習と全7日間の全寮制の集合教育を受講しました。

「指揮訓練Ⅰ（指揮隊運用訓練）」では、火災発生時の指揮隊の活動についてシミュレーション訓練（図上訓練）を行い、部隊運用に必要な基本的指揮要領を修得するとともに、現場指揮技術及び安全管理能力の向上を図りました。

「火災現場指揮（火災性状及び安全管理の知識）」では、火災防御活動を実施する上で重要な安全管理の基礎である「完全着装」を体験し、また活動に必須の「火災性状」に対する理解を深め、活動上の危険性を実際に目で見て知ること、指揮能力を高めました。実火災体験型訓練では、火災現場における活動を想定した現場と同様の熱、煙の状況をつくり、中性帯やロールオーバー等の火災性状を観察するとともに、合わせて注水による熱環境の変化や、脱出時間を確保するための注水技術を体験しました。



実火災体験型訓練

座学では、最新の消防行政の動向や元女性消防署長の女性のキャリアに関する講義、今後、幹部として必要になる人事管理、実務管理、予防実務、部下指導のためのペップトークや教育技法、説得技法等の講義を受講しました。

また、女性消防吏員の活躍について、各自テーマを選択し、入校前に調査研究を実施し、入校中、その結果について全員が発表を行うことで、様々な課題や対応策に関する情報を共有し、今後、女性消防吏員の活躍に繋げるという意識を醸成するとともに、幹部職員としての視点や考え方を養いました。

課題研究発表には、全国の各消防本部で活躍し、ロールモデルとなる女性消防吏員4名をコメンテーターとして招き、学生の研究した課題や解決策等についてアドバイスをいただきました。

全ての研修を終えた学生からは、「似たような悩みを抱えている人たちと話が出来て良かった。」「全国に仲間が出来た。充実した9日間だった。」等の感想が寄せられました。

本コースで、知識技術の修得を行うとともに、同じ悩みをもった仲間と今後のキャリアプラン、ライフプランについて語り合うことで、修了後の活躍の意識がさらに高まったものと考えます。また実際に、本コースに参加された学生の皆さんは、修了後に様々な場面で活躍されています。

今後は、これを契機としてさらに学びを深め、全国の仲間とのネットワークを構築しつつ、各消防本部で実績を重ねて幹部職員となり、女性の活躍が当たり前という状況が多く消防本部で実現することを期待しています。

消防大学校では、各学科、コースともに定員の5%を女性消防吏員の優先枠として設定し、女性の入校を推進しています。さらなる活躍を目指し、女性消防吏員の皆様の消防大学校への積極的な入校をお待ちしています。

最後にコロナ禍の中、本コースが開催できたことに各都道府県関係者並びに学生を送り出していただきました所属、ご家族に感謝申し上げます。

問い合わせ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712